

今月のPick Upレッスン

音楽記号とつながり

曲の中には様々な音楽記号が書かれています。

今回は、ある曲で連続してアクセント(音楽記号：その音だけを強く弾く)が出てくる部分をレッスンしていた時のお話。

生徒さんはアクセントを頑張って意識して弾いてくれているのですが、それが音としてなかなか伝わってこない…

そこで、「楽譜をもう一度よく見てみよう」と言ってみると、アクセントの前に小さなクレッシェンド(音楽記号：だんだんと強く)がありました。

それを確認して、しっかりクレッシェンドをかけてもう一度弾いてもらって伝えたところ、これまでなかなか音にならなかったのが嘘のようにアクセントのついた良い音で弾けたのです。

「楽譜に書いてあることは全てがつながっていてちゃんと意味があるんだね!」と生徒さんと話しました。



この曲
弾けるように
なったよ!



- ・ 盧あすみちゃん
「アマリリス」(ピアノ弾けるよ3)
- ・ 新保りゅうしくん
「さあ、ワルツを踊ろう」(W.L.ギロック)
- ・ 若井田ことちゃん
「バーナムピアノテクニック」(教本)

よく頑張りました!おめでとう!

教室からのお知らせ

《12月のレッスン回数》

12月は各曜日とも「3回」レッスンです。
詳しいレッスン日程については
レッスンの際にお伝えします。

12月31日まで“友だち紹キャン
ペーン”を行っています。
お友達や、お知り合い
の方には是非ご紹介いた
だけますと幸いです。

詳しくはキャンペーン
チラシをご覧ください。

ハートーンな
出来事

初心

いつもお姉ちゃんのレッスンについて来てくれていた弟さん。今月、ついにピアノのレッスンを始めました。初回のレッスンの時、本当に嬉しそうにまさに“満面の笑み”で教室へ来てくれました。普段から付き添いが多かったそうで、やっと「自分も出来る!」というのが嬉しいんだとお母さまがお話してくださいました。それを聞いて、私も初めてピアノを始めた時のことを思い出してほっこり。まだ、年少さんですがレッスン中はしっかりと話を聞いて頑張ってくれています。これからも今の気持ちを忘れないでね。

音楽小ばなし

消さない作曲家

前回に続き今回もモーツァルトのお話。
「神童」と呼ばれ小さい頃からその天才ぶりを発揮していたモーツァルトですが、その直筆譜にはほとんど「消した跡」がなかったそうです。

作曲する際、多くの作曲家は悩みながら修正を重ねますが、モーツァルトの楽譜にはそれがほとんどなかった…つまり、書き始めた時点でその曲の楽譜が頭の中に出来上がっていて、それを書き写すように楽譜を書いていたということになります。

このエピソードからもモーツァルトの多作家ぶり、天才ぶりがわかりますね。

白くまコラム

紅茶

次第に寒い日が増えてきましたが、風邪などひいていませんか?

前々から教室で温かいお飲み物をお出しするための容器が欲しいなと思い、先日勤労感謝の日にお買い物に行ってきました。

とある雑貨店で素敵なタンブラーを発見!
「CORKCICLE」というメーカーのタンブラーでそのスタイリッシュなデザインに一目惚れして購入してしまいました。

冬の期間を中心に、このタンブラーに毎週違う紅茶を入れて置いておこうと思っています。

教室に来た際、カフェ感覚でお茶も飲んで行ってくださいね。
みなさまのオススメの紅茶もありましたらぜひ教えてください♡



おすすめコンサート

東急ジルベスターコンサート

12月は各種コンサートが目白押し。「交響曲第9番(第九)」や「くるみ割り人形」などこの時期に外せない曲目もたくさんあります。
「ジルベスターコンサート」もそんなこの時期ならではのコンサート。オーケストラの演奏を聴きながら新年を迎える…そんな特別な年越しはいかがでしょう?

日時: 2018年12月31日(月)22:00開演
場所: Bunkamura オーチャードホール
演目: ヴェルディ: 歌劇「アイーダ」より「凱行進行曲」 他